

フードバンク

はぐくみまい

育米

2021/12/21～2021/12/23

3日間の配布量

米 : 460KG
日用品 : 257KG

子育て世帯に米と日用品を配布

新型コロナウイルスの蔓延による日本の経済への打撃は、子育て世帯にも多大なる影響を及ぼしています。そこで、高根沢町社会福祉協議会「地域支えあいセンターまるっと」では、学校給食がストップする冬休みを前に、子育て世帯へ米と日用品の配布を行いました。

「育米（はぐくみまい）」と題されたこの取り組みでは、3日間で米460kg、日用品257kgが配布されました。この米や日用品は、フードバンクという仕組みによって、町民の皆さんや企業から寄付されたものです。

子どもたちが、未来を自由に描くことができますように。この育米は、人から人へ想いをつなげ、地域のみんなで子どもたちを育ていくための取り組みです。



～利用者の声～

「こういった助けがあると心が温まります」
「コロナで時短勤務になっていたの、ありがたいです」
「日用品まで買えなかったの、助かります」

育米のためにたくさんの寄付をいただきました。
皆様のご協力に感謝いたします。

生理用品の配布（高根沢町 生理用品無料配布事業）

地域支えあいセンターまるっとがある福祉センターは、「高根沢町 生理用品無料配布事業」で配布される生理用品の受け渡し場所になっています。これは、コロナ禍で経済的な理由などにより生理用品の購入を控えている方や、入手することが困難な方に対する支援として、高根沢町役場が行っている事業です。福祉センターの他、町役場健康福祉課や保健センターでも配布されています。今回は育米に合わせてこの生理用品も配布され、3日間で62袋を、必要とする方へお渡ししました。

フードバンクへの寄付を募っています

社会福祉協議会では、ご家庭で余っている食料品や日用品を集めています。寄付された品物は、様々な理由で生活に苦しんでいる人のもとへ届けられます。

- お米●インスタント・レトルト食品●缶詰・瓶詰●調味料・油
 - のり、ふりかけ、お茶漬け●乾麺(パスタ、うどん、そば、そうめん等)
 - 飲料、菓子 ●生活必需品(シャンプーやせっけん、洗剤など)
- ※常温保存可能で、賞味・消費期限の表示があり、1か月以上あるもの
※未開封のもので、包装や外装、食品に破損がないもの
※生鮮食材、冷凍・冷蔵食品、酒類はお預かりできません。